

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 リゾートソリューション株式会社  
 コード番号 5261 URL <http://www.resol.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 平田 秀明

(氏名) 谷 泰志

TEL 03-3344-8811

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,508	8.2	385	10.4	814	77.4	347	118.6
21年3月期第3四半期	17,973		430		459		158	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	6.25	
21年3月期第3四半期	2.82	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	29,993	8,324	27.7	149.81
21年3月期	31,417	8,248	26.2	148.44

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,297百万円 21年3月期 8,228百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		5.00	5.00
22年3月期		0.00			
22年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	1.1	1,450	41.9	1,400	20.6	650	16.5	11.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 有

(注)詳細は、3ページ[定性情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	55,642,000株	21年3月期	55,642,000株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	76,530株	21年3月期	72,717株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	55,567,729株	21年3月期第3四半期	56,397,638株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述には、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1．連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済対策の効果や在庫調整等はすすんだものの、円高、デフレ局面などを背景とした企業業績への懸念、設備投資の抑制、雇用環境や個人消費の低迷が続くなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは費用面では抜本的な合理化を進めるとともに、営業面では福利厚生事業、ゴルフ場・ホテル運営事業、リゾート事業他のRESOLネットワークによる約700万人の会員の皆様の多様化するニーズにお応えするサービスを拡充するとともに、当社ホームページである“リソルウェブ(会員専用サイト)”のリニューアルや会員の交流会等のイベントを実施、会員向けに福利厚生商品を提供するサービスを開始するなど、会員向けサービスの付加価値向上を図るメンバーズ・コミュニケーション事業を推進し、顧客価値の構築に取り組んでまいりました。

ゴルフ場運営事業では、総入場者数が前年同期に比べ約5%増加、利益率の改善を図るとともに、新たに京都府所在のゴルフ場と業務提携するなど順調に推移いたしました。ホテル運営事業におきましては、21年4月に「ホテルリソル池袋」(東京都)、同年6月には「ホテルリソル町田」(東京都)と、新しいコンセプトによる『ホテルリソル』を相次いでオープンいたしました。このような『ホテルリソル』ネットワークの拡大を受け、同年10月1日には既存のホテルについても『ホテルリソル』へと名称を統一し、“くつろぎ”をメインテーマにブランドのリニューアルを実施いたしました。現在、ホテルリソルでは全国に14カ所のホテルを展開しておりますが、さらにネットワークに充実を図る所存でございます。R&S運営事業では、21年4月に「伊豆高原蒼風」(静岡県)、「湯河原碧翠」(神奈川県)の各所にR&S(リゾート&スパ)ホテルをオープン、企業保養所の再生事業の拡大を図りました。開発事業におきましては、ゴルフ場、ホテルおよび旅館の再生に注力するとともに、投資再生事業として収益が改善した三重県のゴルフ場を当社が運営継続することを前提に投資家へ売却いたしました。

福利厚生事業におきましては、主力商品である福利厚生代行サービス「ライフサポート倶楽部」の販売を強化し、会員の拡大を図るとともに、メンバーズ・コミュニケーション事業を積極的に展開し、会員への提供サービスを向上させることにより、顧客満足度向上とさらなる事業基盤の拡大を図りました。

リゾート事業におきましては、団塊世代を中心としたアクティブシニア層に向け、多様なニーズに対応する商品として「ゴルフヴィラ」を販売するとともに、ご家族やグループで気軽に家具付高級別荘をお楽しみいただける1泊からの別荘レンタルシステムである「スイートヴィラ」のサービスの提供を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、企業収益の減少や個人消費の低迷を背景としてビジネス及びリゾート需要が弱含みとなった一方、当社グループではコスト合理化を行うことにより、売上高は16,508百万円(前年同期比8.2%減)、経常利益は814百万円(同77.4%増)、四半期純利益347百万円(同118.6%増)となりました。

### 2．連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,424百万円減少し、29,993百万円となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。負債につきましては、21,668百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,499百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の減少と長期預り金の減少によるものであります。

### 3．連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月19日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

### 4．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」の適用

「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第22号平成20年5月13日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

なお、これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

2. 表示方法の変更

前連結会計年度において、固定負債の「長期預り金」に含めて表示しておりました「預り保証金」については、当第1四半期連結会計期間より区分掲記しております。この変更は、当第1四半期連結会計期間において、企業会計基準適用指針第22号の改正に伴い、連結の範囲の変更に関する制度改正により、ゴルフ場等の連結子会社が増加し重要性が増加しつつあるため、期間経過に伴い処理される「長期預り金」と、利用権を有する施設会員からの預り金及びホテル運営事業の建物賃貸借契約の契約上の地位の承継に伴う預り金等期間経過による処理を伴わない「預り保証金」を区分し管理する方法に変更したものであり、一層の明瞭開示を図るために行なったものであります。

なお、前第3四半期連結会計期間の「長期預り金」に含まれる「預り保証金」の額は、9,010,066千円であります。

3. 連結キャッシュ・フロー計算書の記載区分の変更

預り保証金の表示方法の変更に伴い、預り保証金の増減に係るキャッシュ・フローは従来、営業活動によるキャッシュ・フローの区分において「その他の負債の増減額」として表示しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、財務活動によるキャッシュ・フローの区分において「預り保証金の増減額」として表示する方法に変更しております。

この変更により、従来と同一の方法を採用した場合と比べ、営業活動によるキャッシュ・フローが578,151千円増加し、財務活動によるキャッシュ・フローが同額減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,351,942	2,923,252
売掛金(純額)	863,653	2,973,767
商品	169,763	168,846
貯蔵品	116,427	76,138
販売用不動産	1,240,711	1,219,958
再生事業不動産等	-	3,331,559
その他(純額)	1,742,529	1,626,806
流動資産合計	7,485,026	12,320,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,354,688	4,989,972
土地	10,951,731	9,174,593
その他(純額)	1,079,571	783,365
有形固定資産合計	17,385,991	14,947,932
無形固定資産		
のれん	1,464,640	904,671
その他	381,197	353,653
無形固定資産合計	1,845,838	1,258,325
投資その他の資産	3,276,210	2,890,789
固定資産合計	22,508,041	19,097,047
資産合計	29,993,068	31,417,378

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成21年12月31日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年3月31日)

<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	348,016	1,440,202
短期借入金	5,397,000	4,422,000
未払法人税等	118,522	279,619
役員賞与引当金	4,125	5,500
賞与引当金	80,592	159,600
その他	1,875,088	2,324,650
流動負債合計	7,823,343	8,631,573
固定負債		
長期借入金	40,000	40,000
長期預り金	666,995	9,106,773
預り保証金	7,825,737	-
更生担保権	2,789,592	2,789,592
退職給付引当金	481,916	455,588
従業員特別補償引当金	47,000	433,500
その他	1,994,073	1,711,447
固定負債合計	13,845,316	14,536,904
負債合計	21,668,659	23,168,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,523,487	2,523,487
利益剰余金	2,577,182	2,507,691
自己株式	17,130	16,550
株主資本合計	9,031,627	8,962,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	174
土地再評価差額金	734,286	734,286
評価・換算差額等合計	734,200	734,112
少数株主持分	26,980	20,296
純資産合計	8,324,408	8,248,901
負債純資産合計	29,993,068	31,417,378

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	17,973,873	16,508,915
売上原価	8,937,757	7,630,605
売上総利益	9,036,116	8,878,309
販売費及び一般管理費	8,605,990	8,492,910
営業利益	430,125	385,399
営業外収益		
受取利息	19,512	31,421
投資事業組合等利益	2,067	3,601
投資再生関係会社株式売却益	-	330,000
債務消却益	-	61,896
その他	54,911	95,130
営業外収益合計	76,491	522,050
営業外費用		
支払利息	43,110	86,139
その他	4,231	6,707
営業外費用合計	47,342	92,847
経常利益	459,274	814,602
特別利益		
固定資産売却益	151	-
債務消却益	16	-
特別利益合計	168	-
特別損失		
たな卸資産評価損	124,938	-
事業所整理損	27,804	37,489
固定資産除却損	106	-
従業員特別補償金	-	53,794
従業員特別補償引当金繰入額	-	47,000
訴訟関連損失	-	67,932
その他	-	11,423
特別損失合計	152,849	217,639
税金等調整前四半期純利益	306,593	596,963
法人税、住民税及び事業税	171,804	190,525
法人税等調整額	29,527	52,417
法人税等合計	142,277	242,942
少数株主利益	5,460	6,683
四半期純利益	158,855	347,337

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	306,593	596,963
減価償却費	350,150	460,335
のれん償却額	46,578	69,557
貸倒引当金の増減額(は減少)	26,841	5,760
賞与引当金の増減額(は減少)	102,190	79,008
役員賞与引当金の増減額(は減少)	3,075	1,375
退職給付引当金の増減額(は減少)	11,749	14,043
従業員特別補償引当金の増減額(は減少)	23,500	47,000
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	168,700	-
債務消却益	-	61,896
従業員特別補償金	-	53,794
訴訟関連損失	-	67,932
受取利息及び受取配当金	21,580	35,022
支払利息	43,110	86,139
売上債権の増減額(は増加)	1,049,130	2,177,862
たな卸資産の増減額(は増加)	145,962	186,506
その他の資産の増減額(は増加)	252,175	362,060
仕入債務の増減額(は減少)	905,097	1,210,086
未払消費税等の増減額(は減少)	51,912	48,465
その他の負債の増減額(は減少)	676,777	587,310
小計	14,176	2,190,201
利息及び配当金の受取額	10,907	21,213
利息の支払額	44,812	89,092
従業員特別補償金の支払額	-	474,100
訴訟関連損失の支払額	-	67,932
法人税等の支払額	408,855	352,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	428,583	1,227,865
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	569,547	468,286
有形固定資産の売却による収入	223,686	-
投資有価証券の取得による支出	3,600	-
貸付けによる支出	-	250,000
貸付金の回収による収入	3,183	2,181
その他	34,593	169,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	311,683	885,379



(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,500,000	975,000
リース債務の返済による支出	-	78,821
自己株式の取得による支出	219,012	579
配当金の支払額	282,947	275,074
預り保証金の増減額	-	578,151
その他	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	998,039	42,372
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	257,772	384,858
現金及び現金同等物の期首残高	1,751,648	1,898,043
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	43,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,009,421	2,326,732

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報  
〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生事業 (千円)	リゾート関連事 業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	13,968,794	404,000	1,883,692	1,717,386	17,973,873		17,973,873
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	13,968,794	404,000	1,883,692	1,717,386	17,973,873		17,973,873
営業利益又は営業損失 ( )	1,138,222	218,065	144,640	117,613	1,094,033	(663,908)	430,125

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生事業 (千円)	リゾート関連事 業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	13,789,086	6,452	1,742,127	971,248	16,508,915		16,508,915
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	13,789,086	6,452	1,742,127	971,248	16,508,915		16,508,915
営業利益又は営業損失( )	1,307,021	6,452	214,607	27,972	1,070,893	(685,494)	385,399

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業内容等の類似性に基づいております。

事業区分	売上区分	事業の内容
運営事業	リゾート施設の運営	リゾートホテル「プリシアリゾートヨロン」の運営
	ホテル宿泊施設の運営	「R & S ホテル」「ホテルリソル」「旅の館」等の運営、旅館・別荘・保養所等の運営
	ゴルフ場の運営	埼玉県、福島県、栃木県等のゴルフ場運営
	ゴルフ場・ホテル等の経営・運営	埼玉県及び千葉県等のゴルフ場・ホテル等の経営
	コンサルティング業務	外部ホテル・ゴルフ場の運営コンサルタント
	ゴルフ場・ホテル等の施設業務管理	ゴルフ場・ホテル・旅館・別荘・保養所等の施設管理
開発事業	レジャー用品の販売	ゴルフクラブ・ボール・ウェア・ギフト等
	デューデリジェンス業務 再生事業不動産等の販売	ホテル・ゴルフ場の鑑定評価 ゴルフ場・ホテル・別荘・保養所
福利厚生事業	「ライフサポート倶楽部」の販売	カフェテリア方式の福利厚生代行サービス「ライフサポート倶楽部」の販売
	国内旅行の販売	与論島のリゾート施設「プリシアリゾートヨロン」への送客及びその他の国内旅行
	海外旅行の販売	その他の海外バック旅行の販売
リゾート関連事業	リゾート施設会員権の販売	リゾートクラブ「ドラマチックリゾートクラブ」、ゴルフ場内別荘の滞在利用権及び正会員プレー権がセットの「ゴルフヴィラ」の会員権等
	リゾート施設の企画及び開発	リゾート施設の企画・開発・請負工事
	ゴルフ会員権の販売	流通ゴルフ会員権
	リゾートマンション・別荘等販売及び仲介	土地及び建物の販売、仲介等

2. 営業利益のうち消去又は全社の項目に含めた金額は、当第3四半期連結累計期間685,494千円、前第3四半期連結累計期間663,908千円であり、その主なものは、親会社の管理部門に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。